

モニタリング結果報告書
(令和6年度)

1. 施設概要

施設名	大磯城山公園		
	所在地	大磯町西小磯・国府本郷	
	サイトURL	https://www.kanagawa-park.or.jp/ooisojoyama/	
	根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)	
	設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和62年4月)	
指定管理者名		神奈川県公園協会・湘南造園グループ	
指定期間		R4.4.1～R9.3.31 (2022年)(2027年)	施設所管課 (事務所) 都市公園課 (平塚土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況の評価はB、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はBで、3項目評価はAとした。利用状況について、広報活動の充実や、快適な環境作りを徹底し更なる利用者の増加に努めてほしい。</p> <p>収支状況について、収入額の減が見受けられることからより公園の魅力発信を行い、来園者増加を心がけるように努めてほしい。</p> <p>運営管理を徹底しつつ、今後も邸園文化の香る魅力あふれる公園づくりを行い、公園の魅力を広める維持管理を行ってほしい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいてヤマユリの繁殖による園路の魅力向上事業を実施した。また、維持管理事業の除草等の事業では、第一駐車場から南門など、来園者のアプローチの区間については事業計画書の内容を上回る取組を実施した。</p> <p>◆利用状況 目標の304,538人に対し、275,470人と目標達成には至らず、B評価となった。前年度比については、103.1%とプラスになっている。利用状況については、夏の来園者の減少などが課題になっており、クールスポットの設置といった来園者増加に向けた取組を検討している。</p> <p>◆利用者の満足度 9月と2月に実施し、上位2段階の回答割合が98%となったためS評価となった。アンケートの実施にあたっては、利用者に幅広く回答してもらえるよう贈呈品を提供するなどを工夫している。</p> <p>◆収支状況 人件費を理由とした支出の増があり、収支比率が93.09%となったためB評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 指定管理者に起因する苦情や要望は寄せられなかった。</p> <p>◆事故・不祥事等 指定管理者に起因する事故・不祥事は生じなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 なお、令和6年度の3項目評価についてはA評価とした。今後は、平日や閑散期の利用促進等の取組を継続するとともに、利用者からの要望を踏まえたイベントの実施など、更なる利用の拡大に努めてもらいたい。</p>	

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況	利用者の満足度	収支状況	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
	(項目6参照)	(項目7参照)	(項目8参照)	
A	B	S	B	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実 施 頻 度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された報告書の内容と現地状況を確認した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実 施 頻 度	意見交換等の内容
	毎月実施	公園管理事務所で、月例報告や地元等の要望及び施設改修・修繕の課題や調整事項について意見交換を実施した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
旧吉田茂邸と連携した両地区の邸園の魅力の向上と日本情緒あふれる空間づくり	植物管理にあたっては、樹木の剪定など適切な管理による眺望の改善や花の見どころづくりなど、本公園の更なる魅力づくりに取り組むとともに、樹木医による老齢木等の点検を7月に実施した。	提案の効果が確認され、樹木医による点検については、点検後の対応も継続することが望まれる。
公園の資源を積極的に活用した利用促進	旧吉田茂邸地区では、利用者が庭園の魅力や歴史を存分に楽しめるように、NPO法人団体と連携して土日祝日には常駐ガイドを実施した。	来園者からの定評があり、今後も継続することが望まれる。
誰もが使いやすい安全快適な公園づくり	旧吉田茂邸の他、日本庭園やお茶室、国登録有形文化財等が点在していることから、高齢者の利用も多いため、公園管理事務所及び管理休憩棟で車いすの貸出等、物理的環境への配慮を行った。	高齢者の利用が多いため、今後も継続することが望まれる。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
茶室の管理運営	かつて置かれていた国宝を活かし、食品衛生責任者を配置し、抹茶や菓子など軽飲食を提供した。
管理休憩棟の管理運営	本公園や吉田茂に因んだハガキやローズティーの販売、周辺福祉施設等と連携したクッキーなどを販売した。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上　A：100%以上～110%未満　B：85%以上～100%未満　C：85%未満
B	※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	298,320	267,230	275,470
対前年度比		89.6%	103.1%
目標値	324,300	303,932	304,538
目標達成率	92.0%	87.9%	90.5%

目標値の設定根拠：	提案書記載目標値
利用者数の算出方法（対象）：	センサーによるカウント及び駐車台数、 団体申込人数より推定

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

＜備考＞ 目標の304,538人に対し、275,470人と目標達成には至らず、B評価となった。前年度比については、103.1%とプラスになっている。利用状況については、夏の来園者の減少などが課題になっており、クールスポットの設置といった来園者増加に向けた取組を検討している。
--

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易アンケートは通年、 詳細アンケートは年2回実施。	本報告書では、年2回（9月、2月）実施する詳細アンケート調査の結果を使用する。 上位二段階の割合は、98.0%であり、昨年度（99.1%）と同様に高い。

〔 サービス内容の総合的評価 〕

質問内容 全体の満足度（公園の運営はご満足いただけましたか？）

実施した調査の配布方法	利用者に直接配布	回収数／配布数	198	／	200	=	99.0%
-------------	----------	---------	-----	---	-----	---	-------

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合 的評価の回答数	150	44	1	3	0	198	きれいに整備されて いた。 素敵な日本庭園だ。
回答率	75.8%	22.2%	0.5%	1.5%	0.0%		
前年度の 回答数	163	44	2	0	0	209	
前年度回答率	78.0%	21.1%	1.0%	0.0%	0.0%		
回答率の 対前年度比	97%	106%	53%	0%	0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

9月と2月に実施し、上位2段階の回答割合が98%となったためS評価となった。アンケートの実施にあたっては、利用者に幅広く回答してもらえるよう贈呈品を提供するなどを工夫している。

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	89,000	0	5,350	駐車場:4,900 自販機: 450	94,350	94,350	0	
	決算	89,000	0	4,858	駐車場:4,434 自販機: 424	93,858	93,476	382	100.41%
前年度	当初予算	89,000	0	5,350	駐車場:4,900 自販機: 450	94,350	94,350	0	
	決算	89,000	0	4,259	駐車場:3,839 自販機: 420	93,259	96,720	-3,461	96.42%
令和6年度	当初予算	89,000	0	5,350	駐車場:4,900 自販機: 450	94,350	94,350	0	
	決算	89,000	0	4,054	駐車場:3,887 自販機: 167	93,054	99,966	-6,912	93.09%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位:千円)
令和6年度 /	前年度 /	前々年度 /	

＜備考＞ 人件費を理由とした支出の増があり、収支比率が93.09%となったためB評価となった。
--

9. 苦情・要望等 ☒ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☒ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。